



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.348 . 1999 . 11 . 1



三尾寺のモミ（新見市）

目 次

「間伐の推進」について	2	“樹”	6
普及最新情報	3	普及指導区の紹介	7
シリーズ地域の銘木	4	お知らせ	8～9
普及指導最前線	5	林産物市況等	10

「事業の紹介」 「間伐の推進」 について

近年、森林に対する県民の要請は、木材生産のみならず水資源のかん養、国土の保全、地球温暖化防止、森林レクリエーションの場の提供など多様化し、その重要性は広く認識されるようになっていきます。

戦後、営々として植林されてきた岡山県の人工林は、現在一七万二千鉢に達しました。この大きな成果は木材資源として年々成長を続けています。



間伐未実施で危険な森林

しかし、この人工林も人手不足や木材価格の低迷等により林家の経営意欲が減退し、間伐など森林造成にとつて重要な作業が十分にはできていないのが現状です。間伐は、優良な木材の生産のみならず、健全な森林を守り育てていく上でも欠くことのできない作業です。

国においても、間伐を促進するための各種施策が展開されており、特に平成十二年度



間伐が適切に実施され健全な森林

から新たに三六～四五年生（現行十六～三五年生）の間伐に対して補助する事業を予算要求されています。

県においても、国の制度を最大限活用するとともに間伐に必要な作業道の整備にも助成するなど、間伐の推進を林政の重要課題と位置づけて取組んでいます。

また、平成十一年度からは新たに間伐材を山土場まで搬出する経費も補助対象となるなど制度も拡充されています。

「皆さんの大切な山を一日も早く間伐しましょう」

平成十一年度の補助制度の概要は次のとおりです。

一 補助の対象

十六～三五年生の人工林の間伐（ただし、三一から三五年生には条件あり）及び山土場までの間伐材の搬出経費

間伐の実施に必要な作業道の開設経費

二 実質補助率 四八～六八％

なお、詳しいことは最寄りの各地方振興局森林課又は森林組合にお問い合わせ下さい。



岡山ブランドきのこの栽培

一 はじめに

岡山県の乾しいたけ生産量は、質・量とも全国で上位を占めており、農林家の複合経営の主要作物として定着しています。

しかしながら、近年の乾しいたけの生産は、輸入量の増大、生産者の高齢化など厳しい状況にあり、生産意欲の減退から本県の乾しいたけ生産量は減産傾向にあります。

このような中にも、「消費者の国産帰帰」、「産地表示の義務化」により国産しいたけが再評価されつつあり、明るい兆しが見られるところです。

全国的レベルの高い岡山県の乾しいたけを衰退させることなく、さらなる躍進を目指して、市場性が高く、外国産にはない天然大径木を利用した肉厚でポリウムのある高品質な岡山ブランドきのこの生産に、平成十年度から三力年計画で取り組んでいます。

二 栽培方法の概要

基本的には従来の栽培方法と変わりませんが、大径木を使用するため、

植菌数を増やすこと。

乾燥が続く場合は、散水による管理を十分に行うこと。

場合によっては、袋掛けを行うこと。

などが、ポイントとなります。

以下、順を追って、概要を記します。

(一) 原木の伐採・乾燥

原木はあまり利用されていないコナラ、クヌギ、アベマキなどの大径木（直径十五cm以上）が適しています。

伐採は原則として三分七分。紅葉の時期が一番適しています。葉枯らしにより原木内の水分を減少させなくてはなりません。（好適水分 三十五％）オガ菌の場合は水分が多少多くても菌のまん延は良いようです。万一、伐採時期が遅れて適当

な乾燥期間がとれなかったときは、原木の乾燥度よりも植菌時期を優先することが重要です。

(二) 玉切り

一kgを標準として行います

が、大径木のため重量がありますので、作業のしやすいようにこれより短いものも可能です。

購入原木の場合は、なるべく年内に購入し、植菌まで時間をかけて観察することが必要です。

(三) 植菌

植菌数は少なくとも原木直径の五倍以上を植え付けます。中途半端な植え付け（植え忘れなど）は害菌発生の原因となりますので正しく確実に行います。

玉切りしてからは直射日光を避けなるべく早く、あまり乾かないうちに接種するのがコツです。（ソメイヨシノの開花までに）

種菌は、各種メーカーから発売されていますが、地域性に適合した肉厚でポリウムのある高品質なしいたけが採取できるようなものを選定します。

(四) 伏せ込み・管理

伏せ込み場所は南西から東南

面の緩傾斜地で風通しが良く、直射日光を避けて楢木に十分雨の当たる場所に伏せ込みます。伏せ込みの方法は「合掌伏せ」が良いでしょう。

オガ菌を使用した場合、植菌孔から害虫が入る場合があります。ほだ場が過湿にならないよう注意します。

降雨の少ない年には人工的に散水することが必要になります。特に、原基形成期ときのこ発生前の散水がしいたけの品質と収量を決定する重要なポイントとなります。



（林業専門技術員 吉岡哲哉）

シリーズ地域の銘木 4

「三尾寺のモミ」は、上房郡北房町境に近い新見市豊永赤馬地内にあります。

付近一帯は高梁川上流県立自然公園特別地域に指定されています。

このモミは、三尾寺参道の南側の少し離れた場所に位置しており、推定樹齢四百年、樹高二五メートル、目通り周囲四・二メートルを有し、孤立木のため三尾寺参詣の際目に入りやすい樹木であり、樹形が優れたモミといえます。孤立木ゆえか、今までに何度も落雷に見まわれ、樹勢は弱り、根本付近の幹にはおきな空

洞が見られていたが、平成七年に樹木医により治療がなされ空洞等は埋められ今ではすっかり樹勢は回復しています。

また、参道の両脇には推定樹齢四五〇年の老スギが並木を形成しており、深山幽谷の趣があります。周囲の山もスギ・ヒノキの人工林や広葉樹林がうつそうと繁っており、市街地に比べ涼しく特に夏期には涼を求めて訪れる人が多く見られます。

老スギは八本あり、樹高四〇メートル、目通り周囲五・七メートルを筆頭に、樹高三五メートル、目通り周囲三・九メートル以上のスギが林立する参道を歩くと神々しさを感ぜないではいられません。

参道の奥に三尾寺があります。この寺は高野山真言宗派に属し神龜四年（七二七年）に行基菩薩の開基と伝えられています。かつて

は、一二坊を有し真言密教の道場として栄えたが応仁の乱の後、天下は大いに乱れ壯観だった塔伽藍はことごとく灰になり、現在の本堂は永禄二年（一五五九年）に再建されたもので、室町時代末期の建築様式を今に伝える貴重な建造物です。規模はそれほど大きくはないが、素朴でやさしく全く無駄がない造りであり県の重要文化財に指定されています。

本尊の千手観音座像は行基自らの作と伝えられており、脇仏の不動明王立像と毘沙門天立像は弘法大師の作と伝えられておりいずれも国の重要文化財に指定されています。

周囲には「満奇洞」「羅生門」等の一級観光地もありますので、休日の一日をのんびり訊ねてみませんか。
(阿新普及指導区Ag近藤和夫)



普及指導最前線

美しい森づくり運動の推進

一 はじめに

倉敷普及指導区では、県民に森林のはたらきや大切さの理解を深めてもらうため、地域の小中学校・ライオンズクラブ・ボランティア団体等の参加を得てドングリポット苗木を育成し、その苗木を山火事跡地等に積極的に植樹しています。そこで、当普及指導区におけるこれらの取り組み状況についてご紹介します。

二 内 容

当普及指導区では、平成七年度から昨年度までの間に倉敷市の王子が岳及び「倉敷美しい森」等において、植樹のつどいを四十五回開催しており、延べ参加人数は約一万人、約十一万五千本の苗木を植栽しています。

「植樹のつどい」を開催するには、まず、その参加者を募ることから始まりますが、当指導区では主に二つのケースがあります。まずひとつは、地域の団体（労働組合、ライオンズクラブ等）からの要望に基づくものです。既に一部の労働組合では

組合活動行事として定着しており、三年連続実施しているところもあります。もうひとつは、例年十一月頃に普及指導区内の小中学校に「森林教室・植樹の体験」を勧める案内文を送付して参加を募るものです。これにより、昨年度は六校（六二人）から応募がありました。小学校については、ある程度的人数があつまればバスを用意してあげることが学校側にとって参加しやすいようです。

次に、植樹に使用する苗木の確保です。当普及指導区では約九万二千本の苗木を育成してきましたが、今年五月に開催した二回の植樹のつどいにおいては全て使い果たし、今では他の指導区の苗木を分けていただいている状況です。

植樹のつどい当日は、鍬・軍手・目串・手洗用水を準備し、林業改良指導員による植樹方法の説明の後、一人約十本の苗木を植えていただきます。

当普及指導区では、県民の自

発的な参加により、数多くの植樹のつどいを開催していることが特徴ですが、これは倉敷地域、特に倉敷市は都市部であり、工業地帯があること、また、山火事が多く発生することなどから自然環境に対する意識が強いということがその背景にあります。

三 おわりに

本年度も「倉敷美しい森」において植樹のつどいを計画していますが、植樹可能場所が減少してきており、新たな植樹場所の確保が問題になってくると思います。

また、既に植樹を行った約十ヶ所の下刈りを実施する必要があるが、素人による下刈りはケガの心配があり、また、夏



倉敷美しい森で開催された植樹のつどい

場は蜂、日射病等の恐れがあるなど難しい点が多くあります。今後下刈りを進めていく上では、特に植樹をした団体にその必要性を十分説明し、積極的な参加を促したいと思います。

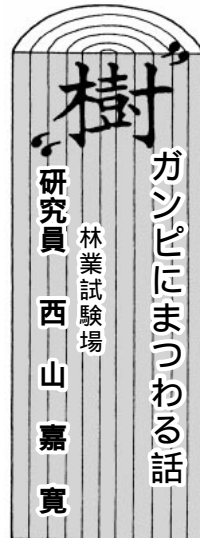
苗木の育成については、既に小学校から取り組みたいとの申し出があり、立派な苗木ができるよう指導していきたいと思えます。

今後とも、倉敷地域における美しい森づくり運動が積極的に推進できますよう関係各位のご協力をよろしく願います。
(倉敷普及指導区 Ag 岡川勝利)

近年、針葉樹パルプに変わる製紙原料として、アフリカ産のケナフが注目を集めているが、日本でも古来より紙の原料として、コウソ（楮）とともに、ガンピ（斐）が使われていた（ミツマタは江戸時代から使われ始めた比較的新しい和紙原料）。ガンピで和紙を漉くと、卵黄のような淡黄色であることから、「鳥の子紙」として、古く「和漢三才図絵」にも記載されています。

私にとって、「ガンピ」という言葉は初夏に咲く黄色で可愛い花、和紙原料といったイメージを抱かせるとともに、ある実体験を連想させる。

一〇年ほど前、私は備前市の山火事跡地によく調査に出かけていたが、そこに萌芽により再生したガンピがあたり一面にみられたものである。丁度、冬場であったと思うが、偶然にも年齢が七〇才位のガンピの皮を採取している一人の老人に出会った。私は彼からガンピに関する



話も聞くことができた。彼は夜が明けるか明けぬ前に家を出て、片道数キロメートルの距離を徒歩でここまで来たこと、ガンピの枝を集め、皮を剥く作業を一日中行い、背負い袋（三〇キロ程度）が一杯になるとこれを持ち帰り、よく干してから仲買業者に販売するという話等であった。その時の話の中で、前述の徒歩でここまで来た話と一日採取したガンピの売値が極めても

安く、弁当を食べるのさえ何か後めたい気持ちがあったことを特に印象深く覚えている。

それから、足繁く此地に通ったが、ついぞ彼に会うことはなかった。ただし、彼の「ガンピは樹齢が二〇年を経過すると自然に枯れていく」という言葉の真偽を確かめるべく、県南部の山を歩いているが、確かに樹齢が二〇年を越える程のガンピを未だ目にする機会に恵まれ

ていない。この答えはまだまだ謎のまま解けていない。

さて、岡山県にもミツマタを原料とする横野和紙（津山市）や樫西和紙（真庭郡久世町）といった有名な産地がみられる。これに対し、ガンピを原料としたいわゆる「鳥の子」の名産地は、既に江戸・元禄時代には越前（石川県）のほか摂津名塩（兵庫県西宮市）が知られていたようである。「和漢三才図絵」の中でも、「越前紙のことを紙王」とまで言及している。国内におけるガンピの分布も石川県以西であり、このこともガンピが此の地で和紙原料として使われたといえれば話が出来過ぎであるうか。一方、名塩紙（なじお）は「泥入り鳥の子」として全国にその名が知られていた。

これは漉く段階で、名塩名産の火山灰等の凝灰岩が混入されているためこの名が付けられた。和紙は日焼けしない、乾燥に強い、虫食いが無い等の優れた特徴を有している。

ガンピはコウソ、ミツマタに比べ、栽培化が進んでおらず、生産は主に山取りが中心であ

る。ただし、ガンピから作られた和紙は繊維が短く光沢があり、薄くても非常に丈夫であるため、現在、箔打紙、襖紙、金箔下地紙等に使用されており、非常に高価である。

今でも備前市で会った彼が健在で、もしや備前市周辺のガンピが名塩和紙の原料として一役を担っているかもしれないと思うと、ガンピがさらに身近に感じられる。

高梁普及指導区の紹介

■高梁普及指導区は、高梁市を中心に、上房郡と川上郡の一市六町（森林面積・約五万五千ヘクタール）を管内とし、八名のAGが配備されています。

管内の森林は、天然松林と天然広葉樹林がそれぞれ四割を占め、人工林率は二%と極めて低く、今後の林業振興に期待が持たれます。

■平成十一年十月一日、一市四町（高梁市・有漢町・北房町・賀陽町・川上町）の森林組合の合併により、組合員数県下第一位の「高梁地方森林組合」が誕生し、地域林業活性化の核としての躍進が期待されます。

こうした中で、我々AGは、優良林育成に繋がる、間伐材を利用した「ふれあい木工作品展」の開催、地域特産のマツタケ増産を目指しての実証課題事業、県下で初のギンナン栽培の指導等に鋭意取り組んでいます。

また平成十二年度にオープンする「高梁美しい森」を活動拠点とし、森林・林業の大切さを普及し、二十一世紀に向けて豊かな自然環境・地球環境を啓発すべく、全員で勉強しています。

■以下に八名のAGを紹介します。

* 氏名 担当市町 特技項目 一口コメント



藤井 正善
（管内一円）
地区主任（林業全般）
スポーツ大好き人間 特に今はNBAがおもしろい。

中村 学
北房町
普及方法（林研グループ・後継者）
趣味の古本の山で家中が大混乱しています。

三宅 美
裕
高梁市
林業経営（林業金融など）
生まれは海沿いですが、海より山の方が好きな人間です。

渡邊 浩治
備中町
造林（新植・保育・間伐など）

渡邊康太郎
川上町
森林保護（病害虫の防除など）
パソコン自作から金魚の飼育まで、浅く広くがモットーです。
空散ではヘリコプターの仕組みが気になって仕方ありません。

真栄田節夫
有漢町
林業機械
みなさん、高梁美しい森へ来て下さい！

高富 玄
賀陽町
特用林産（きのこ・ギンナンなど）
きのこ類の栽培から町おこしまでなんでも相談して下さい。

若林 彰
成羽町
林産（木材の利用など）
二十一世紀の子供達に美しい森を残せるよう、がんばりたいと思います。
（高梁普及指導区Ag中村 学）

連絡先

- *住所：〒716-8585 高梁市落合町近似286・1
（岡山県高梁地方振興局森林課普及振興係）
- *電話：0866-22-4111（258～260・406）
- *FAX：0866-22-9506（農林水産事業部）

気軽に、相談・連絡下さい

お知らせ

岡山二十一世紀森林・林業

ビジョンへの意見と写真の募集

一 意見・提言の募集

岡山県では、二十一世紀における森林・林業のあるべき姿や今後の林業の振興方策などを明らかにした「岡山二十一世紀森林・林業ビジョン」を策定するため、県民の皆さんからご意見やご提言を募集しています。

県土の約七割を占める森林は、木材の生産のほか、水資源



の確保、洪水や土砂崩れの防止など私たちの暮らしに欠くことのできない役割を果たして

います。また、地球環境を守る上で、二酸化炭素を固定し地球温暖化の防止に寄与する森林や木材の役割が改めて見直されています。

「岡山二十一世紀森林・林業ビジョン」は、大切なこれらの森林を未来に引き継ぐための道筋を示し、今後一〇年間における岡山県の施策の基本指針となるものです。

県民の皆さんの意識を十分に反映したビジョンにしたいと考えております。森林や林業について日頃からお気づきのことやお考えになっていることなどたくさんのご意見をお寄せください。

「意見の募集期間」

平成十一年十二月三十一日まで



二 写真の募集

また、公表されるビジョンには、県民の皆さんが撮影された森林や林業の写真が掲載されます。岡山県内の森林、林業、県産材加工と利用、森林レクリエーションなど、森林・林業に関係する写真をふるって応募してください。

「写真の募集期間」

平成十二年二月二十九日まで

意見・写真のあて先

郵送

〒七〇〇 八五七〇

岡山県農林水産部林政課

電子メール

rinsai@pref.okayama.jp

県民の声を

ビジョンに活かそう

第五代「おかやま もりの妖精」 の決定について

当協会が募集しておりました第五代「おかやま もりの妖精」の面接選考会を九月二日、岡山市のカルチャーホテルにおいて開催しました。

「おかやま もりの妖精」は「美しい森づくり運動」の一環として、森林・林業のイメージアップを図るため、平成七年度に設置されたもので、今回で五代目となっております。

面接選考会には、書類審査に合格した三六名が出席し、自己PRのほか、応募の動機など面接審査を行いました。

選考は、当協会の高宮会長をはじめ、岡山県農林水産部の田村次長、岡山県木材組合連合会の中塚会長ら七名の審査員によって行われ、美しい森づくりのイメージにふさわしい、好感度、森林・林業への関心の度合を基準に審査が行われました。

審査の結果、次の三名の方が第五代の「おかやま もりの妖精」に決定されました。

氏 名	住 所	年 齢
橋本理恵子 <small>はしもとり えこ</small>	岡山市	19
岡本真智子 <small>おかもと まちこ</small>	倉敷市	22
太田陽子 <small>おおた ようこ</small>	津山市	23

第五代の「もりの妖精」の活動期間は十月から来年の九月までの一年間で、十月からの活動開始にあたり、九月二十四日には、石井知事を表敬訪問しました。これからは、各地域で行われます「植樹のつどい」や「ふるさと祭り」などの各種イベントに参加し、森林・林業のPRのため頑張ってください。御支援と御協力をお願いいたします。

ます。

なお、「もりの妖精」のイベント等への派遣要請など活動についてのお問い合わせにつきましては、当協会事務局（県庁林政課内）又は当協会支部（各地方振興局森林課）までお願いします。

〔連絡先〕

〒七〇〇 八五七〇

岡山市内山下二 四 六

岡山県林業改良普及協会

（県庁林政課内）

☎（〇八六）二二四 二一一

内線 三三〇四



橋本さん、岡本さん、太田さん（左から）

林産物市場況

製材 (10月下旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	25 - 30	6.0	一等	45 - 50	10.5	特等	90 - 95
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	120 - 125
9.0	上一	18 - 20	9.0	上一	20 - 22	"	上小	130 - 140
"	一等	22 - 24	"	一等	27 - 30	13.5	特等	95 - 100
10.5	一等	35 - 40	10.5	一等	65 - 70	"	上小	110 - 120
"	特等	40 - 45	"	特等	70 - 75	ラ ス 板		
"	上小	55 - 60	"	上小	110 - 150	2m 1.2× 9.0		20 - 23
"	無節	70 - 90	"	無節	180 - 200	3m 1.2× 9.0		23 - 25
12.0	特等	35 - 40	12.0	特等	75 - 80	2m 1.5×10.5		25 - 30
"	上小	50 - 60	"	上小	110 - 150	2m 0.9×24.0		65 - 70
"	無節	60 - 70	"	無節	180 - 200	2m 1.5×21.0		33 - 37
長サ 4m			長サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	35 - 40	6.0	一等	53 - 58	杉4m 3.0× 3.0	無節	(本) 6 - 8
9.0	上一	22 - 23	9.0	上一	30 - 33	杉4m 4.0× 4.5	無節	(本) 12 - 20
"	一等	30 - 33	"	一等	45 - 48	杉4m 4.5×10.5	無節	180 - 200
10.5	特等	40 - 45	10.5	特等	75 - 80	桧4m 4.5×10.5	上小	150 - 200
12.0	特等	38 - 40	12.0	特等	75 - 80	桧4m 4.5×10.5	無節	250 - 300

木 材 (10月中旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 12	10	18	-
	13	17	33	-
	14 - 16	22	39	-
	18上	19	39	13
4m	7 - 12	11	22	-
	11 - 13	-	-	-
	14 - 16	-	39	-
	18上	17	33	25
6m	14 - 16	-	63	-
	18 - 20	-	53	-

乾しいたけ (10月下旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	平均	高 値
香 信 大 葉	44	53
" 中 葉	34	75
" 小 葉	19	45
パ レ 大 葉	24	37
" 中 葉	19	41
ス ラ イ ス	17	36
香 茹	31	56
上 冬 茹	25	57
並 "	17	42
並 並 "	17	39
小 玉 "	8	19
格 外 品	13	35

編集後記

十一月になり、早いもので、今年もあと二ヶ月となりました。味覚の秋本番となり、各地で、ふるさと祭りや野生きのこの鑑定会などが開催されていますが、野生きのこの鑑定は非常に難しいものです。採ったきのこは、素人判断をせずに、必ず詳しい人に鑑定をしてもらいましょう。今回は、二〇〇〇年一月の発行予定です。

(B)